

ビオトープコンサート

学校運営協議会でビオトープの活用について検討され、いろいろなアイデアの中からコンサートが実現し今年度これまでに4回開かれました。第3、4回目は15中生の隠されていた才能が披露され、大変盛り上がりました。第5回、第6回は下のように予定しています。昼休み20分だけの短い時間ですが、保護者の皆さんもぜひお楽しみください。



左は第4回の様子。先生と生徒のユニットでアイドルのライブ並みの大盛り上がりでした！

第5回 3月2日(木) 開演12:40
(雨天時 体育館)

▼詳細は下のポスターをご覧ください。

第6回 3月7日(火) 開演13:00
(雨天時は3月9日12:40に順延)
いよいよ吹奏楽部の皆さんの登場です！！乞うご期待！

来年度は、音楽に限らず、ダンス、手品、漫才、落語、詩吟、南京玉すだれ・・・いろいろなパフォーマンスを見せてくれる生徒の皆さんの出演を期待しています！

「十五中では何やオモロイことしているらしいで、見に行こ！」と地域の方の噂になったり、「あんな風に自分を表現してもみんな受け入れてくれるんや」とすべての十五中生が思えたりするような学校になるといいなあ・・・と思っています。



ビオトープ整備のご協力有難うございました

2月25日(土)9時からビオトープの整備を行いました。PTAのボランティアの方、学校運営協議会の皆さん、ハンドボール部やサッカー部の子どもたち、少なくとも150人くらいは集まって頂き作業しました。栗石という少し大きめの石をみんなで運んで池の周りに敷き詰め、池の周りが見違えるようにきれいになりました。





また、ヤマモモの苗木を2本大阪府みどりの基金から頂き、ビオトープの奥プール横に植えました。また、PTA環境委員さんは卒業式用のプランターをたくさん作って頂き、間近に控えた卒業式、そして春に向かって準備が整いつつあります。

ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

3年生合唱コンクール

2月22日、3年生の合唱コンクールが開かれました。さすが3年生！どのクラスの合唱もとても良かったです。女声、男声のハーモニーがどのクラスも素晴らしく、また声量もよく出ていました。クラスでまとまってひとつの曲をつくり上げよう、という想いがどのクラスからも感じられました。42期生にとっては、3年間で初めて実施できた合唱コンクールでした。練習が受験期にかかり新型コロナやインフルエンザの感染を心配しましたが、保護者の皆さまも合唱コンクールの取り組みを応援してくだっあって有難うございました。これで3学年全ての学年で実施でき本当によかったです。



全校集会での講話

2月16日の全校集会では、「置かれた場所で咲きなさい」と言う講話をしました。

自分の5、10年後、20年後の将来わかりますか？



自分の5年後、10年後、20年後の将来わかりますか？中学生の時って、ほとんどの人にはわからないですよ。私もそうでした。みんなは自分の人生を作り始めたばかりです。

もしかしたら、まだそこまでも行ってなくて、自分で考える習慣がなく何でも親の言うがままだったり、保護者がいないと何もできないという状態の人もあるかもしれません。

それではいくら何でもちょっと困りますけれど、中学生の多くは自分はこれからどんな大人になっていくんだろう？と思うような感じだと思います。

今日は、人生の先輩の生き方を知って、こんな人生もあるよ、ということを知って欲しいと思います。



この人知っていますか？知らないですよ。この人の人生を少しだけ紹介します。Nくんと言います。彼の人生を簡単に紹介します。

高校3年生の夏休みに大学受験のための夏期講習を受けていた時、彼は急に「おれ大学行くのやめた！」と言ったのです。その時隣にいた私はびっくりしました。

後で聞くと家の経済状態を考えると4年も大学に行っている場合ではないと思った、とのことでした。

そして、建築の専門学校に行き、その学校の近くで一人暮らしを始め、アルバイトに行くようになりました。十三にあるお寿司屋さんです。

働いているうちにそのアルバイトが楽しくなり、料理に興味がわいてきました。

建築の専門学校を卒業したのですが、俺は板前になる、といくつかの飲食店で働き、魚のことを基本から勉強しなおしたい、と途中の何年間かは大阪の魚卸売り市場でも働きました。そして北新地の飲食店で働いていた時、お店のオーナーから呼ばれ、今度ニューヨークに支店を出すから行かないか、と言われたのです。

「日考えさせてくれ、と言ったのですが、いやすぐに返事せい、と言われ、思わず「じゃあ行きます」と答えてしまいました。

ニューヨークでは彼の料理が評判になり、店は人気店になりました。そして、彼は「情熱大陸」という番組に取り上げられたのです。

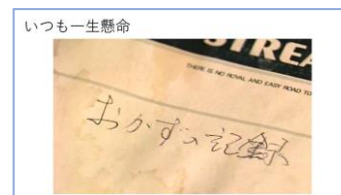


何が言いたいかというと、人生は回転すしみたいなもので、急に好きなものに出会ったり、突然チャンスはめぐってくる、ということなんです。

そのチャンスは、一回見送ってもまた同じチャンスが来るかもしれない、でも誰かにとられちゃってもう来ないかもしれない。

そのチャンスを見送ったことで、もっと大きなチャンスに出会うことだってあるのかもしれない。その辺が人生の面白いところかな、と思います。

でもね。誰でもちゃんと自分の好きなネタを食べて満足いく人生を送らないといけません。そのチャンスを逃さないために、中学生のいま、どんな準備をしておけばよいのかを考えてみて下さい。



Nくんは、いつもノートを持ち歩いていて、気づいたことをすぐにそこに書き留めていました。

建築の時は家づくりのことを。魚屋の時は魚のことを。そして板前の時は料理のことを。

その場その場で一生懸命でした。

修業時代、血洗いの時は一流の血洗いに。ホール担当の時は一流のホール担当に。そんな風に見えました。

みんなは例えばクラブで球拾いばかりの時、一流の球拾いになろうとしていますか。

基礎練習の時、基礎練の一流を目指そうとしていますか。

しんどい下積みが続かず、やめてしまう人が多いのです。

「なんでこんなことせなあかんねん」などと文句言わずに、今やれる足元のことを一生懸命にやる積み重ねで自信も育ちます。そして、ある日突然大きな仕事を任されることになるのです。

人の信頼を得てチャンスをつかむ方法の一つはそのようなことです。この方法は実は誰にでもできることですが、実際にこれができる人は、とても少ないのです。

私もそうでしたが、若いうちは短時間で急に伸びる才能が自分にはないかと探してしまいがちです。

特に最近はYouTubeやTikTokで、急にバズって有名人になるような人もいて、そんな気持ちになるのもわかります。



また、棋士の藤井聡太さんや大谷翔平選手のように才能にも恵まれ、さらに努力を重ね若いうちから大活躍する。それはもちろん素晴らしいことですが、そんな特別な才能を持つ人はほんの一握りです。

人より時間がかかってもいいや、と開き直り自分の中にあるものを少しずつ成長させて丁寧に磨いていく。

そんな生き方でも十分に幸せな人生を送ることができる、と私は思います。



「置かれた場所で咲きなさい」

という言葉があります。渡辺和子さんという人の言葉です。渡辺さんは言います。

置かれた環境はそれぞれです。花はどんな環境におかれても文句を言わずに、ただ一生懸命に咲いています。

でも、どうしても咲けない日もあります。

寒さが続いたり、日照りで枯れてしまうそうとき。

そんな時は、無理に咲かなくてもいい。

根を下へ下へおろして、根っこを太くするのです。

そうすれば、次に咲くときには、よい大きくきれいな花が咲くと思います。

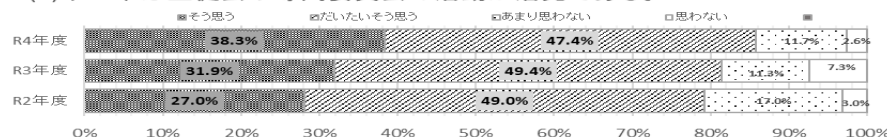
みなさんは、これからどんな自分の人生を作っていきますか？

以上で今回の話は終わりです。

学校運営協議会

2月17日(金)に本年度第3回の学校運営協議会が開催されました。内容は学校ホームページに掲載しています。協議会では、12月に行った学校教育自己診断の結果をお示ししてご意見をいただきました。学校教育自己診断の結果については「校長室から」の場所に掲載をしていますのでご参照ください。

(3)十五中は生徒会や専門委員会の活動が活発である。



★ひとつだけ紹介★
生徒会で頑張ってくれた人たちの成果です！